

# 第65回 水道週間

児童生徒作品展  
入賞作品集

会津若松市

# 第65回水道週間児童生徒作品展入賞作品集

## 【図画の部】

- ・ 小学校低学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）…………… 1
- ・ 小学校高学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）…………… 4
- ・ 中 学 校（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）…………… 7

## 【書写の部】

- ・ 小学校低学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）…………… 10
- ・ 小学校高学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）…………… 11
- ・ 中 学 校（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）…………… 13

## 【標語の部】

- ・ 小学校低学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）…………… 15
- ・ 小学校高学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）…………… 16
- ・ 中 学 校（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）…………… 17

## 【作文の部】

- ・ 小学校低学年（市長賞・市議会議長賞）…………… 18
- ・ 小学校高学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）…………… 21
- ・ 中 学 校（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）…………… 30

【図画の部】

〈小学校低学年〉



〔市長賞〕 会津若松市立城南小学校 3年 森 陸翔



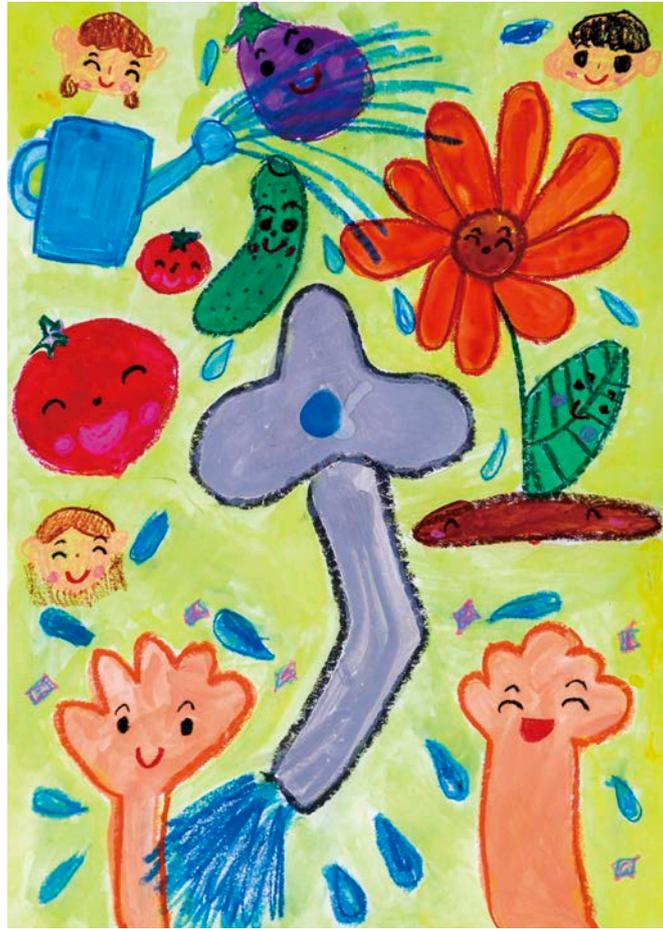
〔議長賞〕 会津若松市立謹教小学校 1年 歌川 さくら



〔教育長賞〕 会津若松市立行仁小学校 2年 高橋 杏弥



〔理事長賞〕 会津若松市立城南小学校 3年 和須津 風花



〔管理者賞〕 会津若松市立城西小学校 1年 鈴木 琴子

### ■ 審査講評

日常の中で、水道に関わる生活のいろいろな場面を思い出して描いていることがこちらにもよく伝わってくる作品ばかりです。

低学年の図画は、みなさんの気持ちがよく表現されていて、見ているこちらにも笑顔にさせてくれます。それは、水との思い出が楽しいものだからだと思います。

お風呂や水遊び、水まきなどをクレヨンや絵の具を使って、自分の好きな色や形でのびのびと描いています。

これからも、素晴らしい作品を描いて、見ているこちらを楽しませて下さいね。

〈小学校高学年〉



〔市長賞〕 会津若松市立行仁小学校 5年 小瀧 タオ



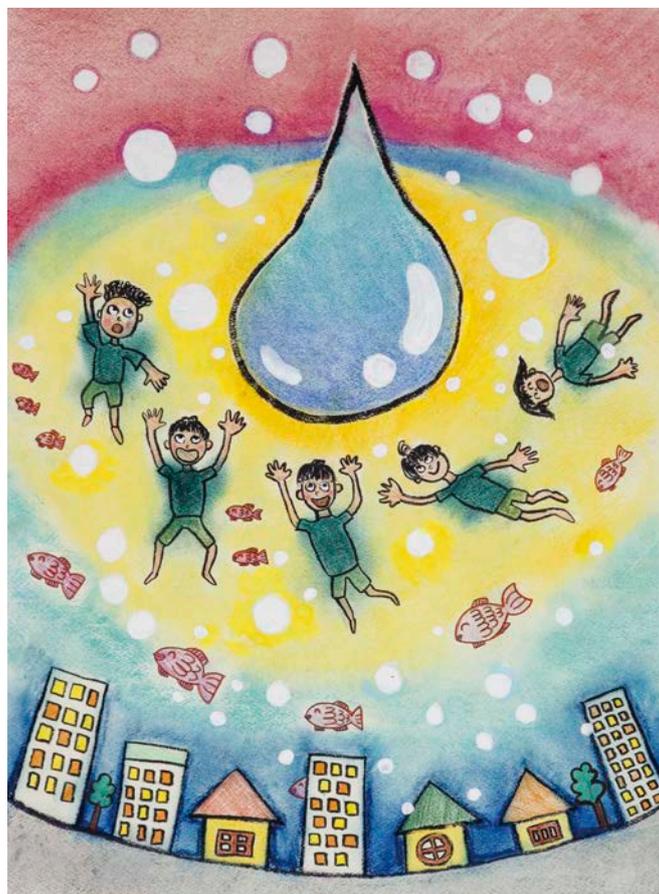
〔議長賞〕 会津若松ザベリオ学園小学校 6年 愛澤 莉杏



〔教育長賞〕 会津若松市立一箕小学校 5年 宮野 春輝



〔理事長賞〕 会津若松市立謹教小学校 5年 佐々木 星花



〔管理者賞〕 会津若松市立謹教小学校 6年 坂本 修吾

### ■ 審査講評

高学年らしく、自分の生活と水道の関わりあいを深く見つけた作品が多くありました。その内容は、手洗い、入浴、料理、植物への散水、プール、魚の飼育水槽、洗濯等、生活のいろいろな場面を想定して描いています。上位入賞した作品は、絵の主役、脇役を意識して画面構成しているの、絵を見る人の心にしっかり届きました。

今後、自分の書きたい場面を決めたら、アイデアスケッチを何枚か描き、より伝わりやすい構図を考えること、主役は特にこだわって、ていねいに描くことを心がけてほしいと思います。



〔市長賞〕 会津若松市立第二中学校 3年 大竹 緋奈多



〔議長賞〕 福島県立会津学鳳中学校 1年 荊 祐希



〔教育長賞〕 福島県立会津学鳳中学校 3年 永井 帆波



〔理事長賞〕 会津若松市立河東学園（後期課程） 8年 渡部 小夏



【書写の部】

〈小学校低学年〉



〔議長賞〕

会津若松市立門田小学校  
3年 門馬 侑愛



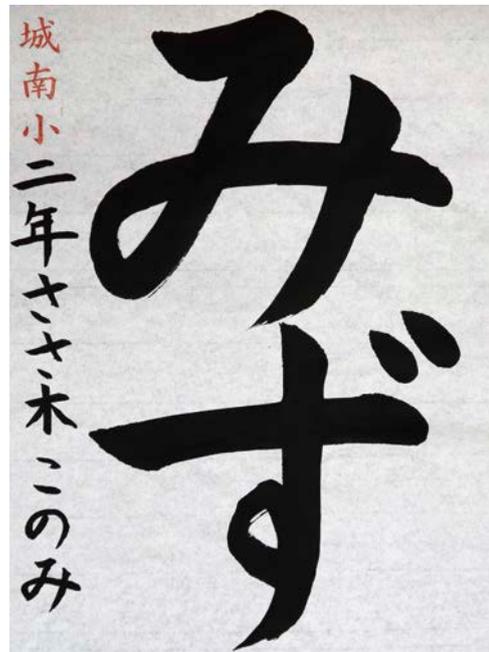
〔市長賞〕

会津若松市立一葉小学校  
3年 大谷 恵生



〔理事長賞〕

会津若松市立日新小学校  
3年 遠藤 優芽



〔教育長賞〕

会津若松市立城南小学校  
2年 佐々木 心希

## ■ 審査講評

低学年の課題は「みず」でしたが、全体的に「み」は良く書けていた様に感じました。「す」は一画目の横面のバランス、二画目の結びが難しかった様でした。

「み」をしっかりと書くようとしてか、少し大きくなり、「す」が小さく窮屈で二文字の調和がとれていない作品が目につきましたが、一字一字はしっかりと書けていると思えました。

入賞作はいづれも堂々として立派だったと思います。名前も丁寧にしっかりと書いてあり、低学年とは思えない作品でした。

指定された「学校名」と「学年」が未記入で審査外になってしまった作品が十数点有りました。要項を良く読んで未記入にならぬ様お願い致します。



〔管理者賞〕

会津若松市立東山小学校  
3年 渡部 伊織

〈小学校高学年〉



〔議長賞〕

会津若松市立行仁小学校  
6年 大山 美来



〔市長賞〕

会津若松市立一箕小学校  
6年 大西 毬子



〔理事長賞〕

会津若松市立松長小学校  
6年 佐藤 希美



〔教育長賞〕

会津若松市立行仁小学校  
6年 大山 美結

■ 審査講評

上位に入賞した作品は、練習を重ね書きこんだことが伝わってきました。名前もしっかり書かれており、どれも立派な作品でした。課題の四文字を半紙に書くことは、小学生では難しいと思います。「道」と「週」のしんによる大きさ、形に気をつけて書くと、良くなると思います。四文字を書くとき半紙いっぱいになり余白がなくなってしまうがちです。文字の大きさに気をつけて半紙に四文字をバランスよく書いてください。

5年生で入賞した方もおりました。来年度の活躍を期待しています。校名、学年が書かれていなくて、課題文字が上手でも審査対象外となった作品があったことは残念です。学校、家庭で練習する際に、要項を確認していただきたいです。



〔管理者賞〕

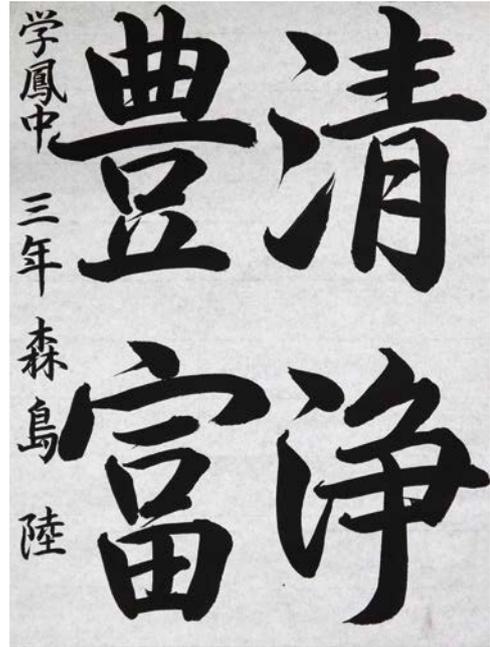
会津若松市立謹教小学校  
6年 串淵 未来

〈中学校〉



〔議長賞〕

会津若松市立第四中学校  
3年 一条 春歌



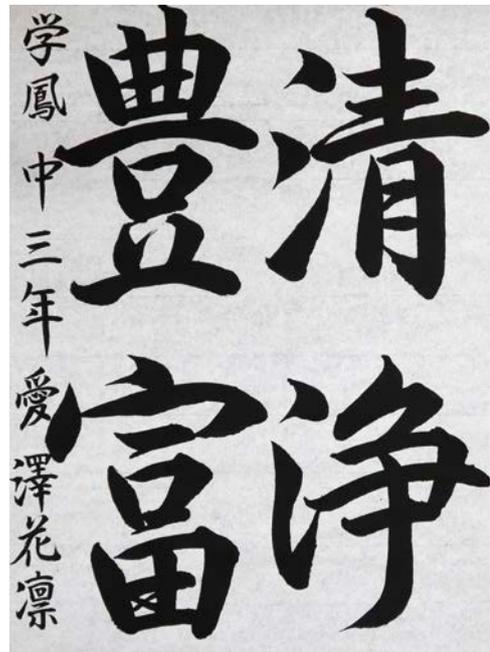
〔市長賞〕

福島県立会津学鳳中学校  
3年 森島 陸



〔理事長賞〕

会津若松市立河東学園（後期課程）  
8年 渡部 小夏



〔教育長賞〕

福島県立会津学鳳中学校  
3年 愛澤 花凜



〔管理者賞〕

会津若松市立第二中学校  
3年 五十嵐 苺子

■ 審査講評

中学生は募集要項をよく読んで、規定に即した作品が応募されてきました。

どの作品もよく練習を積み、書きこまれた中から選ばれた秀作ぞろいで、審査は難航しましたが、特に上位に入賞された方の作品は甲乙つけがたかったです。

しかしながら、最後はやはり書の基本である「筆脈」を意識された、全体としてまとまりのある作品、「始筆から終筆」まで流れを感じる作品が入賞されたと感じます。

今後書に親しみ、美しく完成できた時の喜びと達成感を味わってほしいと思います。

## 【標語の部】

### 〈小学校低学年〉

#### 〔市長賞〕

会津若松市立城南小学校 三年 佐藤 鈴花

いよう南学校 三年

氏名 さとう すずか

ありがとうかんしゃをこめてのむしあわせ。

#### 〔議長賞〕

会津若松市立小金井小学校 一年 渡部 心鞠

会津若松市立小金井小学校 一年

氏名 わかばべこまり

みずナニは

はぐくむこと ないている

#### 〔教育長賞〕

会津若松市立城南小学校 一年 目時 四葉

会津若松市立城南小学校 一年

氏名 目時 四葉

わたしもあなたもおはなも  
みんなみずがだいすけ

#### 〔理事長賞〕

会津若松市立湊小学校 三年 渡部 葉花

会津若松市立湊小学校 三年

氏名 渡部 葉花

お水から

元気といのちを

もらってる

#### 〔管理者賞〕

会津若松市立城北小学校 三年 岩淵 竣介

福島県会津若松市城北小学校 三年

氏名 岩淵 竣介

大切にします

水くみり絵を見た

その日から

#### ■審査講評

水や水道を自分の生活や身の周りのものと結びつけて書かれた作品が多く見られました。水を飲んだ時のおいしさやありがたさを低学年らしい素直な言葉で表現できています。また、水の大切さや節水の必要性など、SDGsの視点から考えられた作品があり、地球の将来に子どもなりの思いを寄せていることがよく分かります。

これからも毎日の生活と水との関わりを意識しながら、おいしい水で健康に育ってくれるといいですね。

## 〈小学校高学年〉

### 〔市長賞〕

会津若松市立神指小学校 五年 岩沢 里梨榎

神指小

学校 五年

氏名 岩沢 里梨榎

災害で

初めて気づく

水の大切さ

### 〔議長賞〕

会津若松市立日新小学校 四年 岡部 恵菜

日新

学校 四年

氏名 岡部 恵菜

水守る  
小さな行動  
大きな輪

### 〔教育長賞〕

会津若松市立松長小学校 六年 佐藤 希美

松長小学校 六年

氏名 佐藤 希美

会津のお水 身体も笑顔もつくる ニ刀流

### 〔理事長賞〕

会津若松市立河東学園 (前期課程) 四年 木村 心珀

河東学園

学校 四年

氏名 木村 心珀

しめました？！

水道じゃぐちと

気持ちのゆるみ

### 〔管理者賞〕

会津若松市立湊小学校 五年 五十嵐 天惺

会津若松市立湊小

学校 五年

氏名 五十嵐 天惺

「キュッ」としめて  
これがわが家の  
水道ルール

### ■審査講評

安心して飲める水への感謝、限りある資源を未来へつないでいこうという思いをこめた作品が多く見られました。自分の身近な体験から地球環境へと視野が広がっている点がすばらしいと思います。

素直な思いをリズムをもって表現していることで、印象に残る作品になっていました。

今後も水の大切さについて考えを深め、言葉で表現して行ってほしいと思います。

## 〈中学校〉

〔市長賞〕 会津若松市立第五中学校 一年 上野 悠眞

福島県会津若松市立第五中学校 学校 一年

氏名 上野 悠眞

とどけよう  
蛇口からあふれる幸せ  
100年未来まで

〔議長賞〕 会津若松市立第一中学校 二年 南 瑜漢

会津若松市立第一中学校 学校 二年

氏名 南 瑜漢

節水で  
水も未来も  
七色に

〔教育長賞〕 会津若松市立一箕中学校 二年 渡辺 真悠

一箕中学校 二年

氏名 渡辺 真悠

安心も  
共に飲みほす  
豊かな水

〔理事長賞〕 会津若松市立第一中学校 二年 小林 勝

会津若松市立第一中学校 学校 二年

氏名 小林 勝

部活後  
冷たい水で生き返る

〔管理者賞〕 会津若松市立北会津中学校 二年 鈴木 千那

会津若松市立北会津中学校 学校 二年

氏名 鈴木 千那

無限じゃない水も大事な  
次資源です

### ■審査講評

SDGsなどの地球規模の作品から、日常の学校生活での一場面を描いた作品まで、じつに多彩な視点、多様な考え方でとらえられた作品ばかりでした。一つ一つの言葉の使い方が巧妙で、よく吟味されており、読みごたえがありました。自分の思いを短い言葉に凝縮させる表現力は、さすが中学生です。五・七・五の定型にこだわらず、自由な音数で表現できる柔軟さも身に付いているようです。今後、さらに多くの作品が集まることを期待しています。

# 【作文の部】

〈小学校低学年〉

〔市長賞〕

会津若松市立城南小学校 3年 和須津 風花

まだ使えるお水  
城南小 三年 和須津 風花  
「水、も、たいなくないか」  
部活から帰ってきたお兄ちゃんか、ただいまの後にそう言いました。お兄ちゃんはいりく上で、公園にあるきょうぎ場で部活をしてきました。その公園にあるふん水がゴールドンウィークにな、てまた始ま、たようです。さおくて遊んでいる子どもがいないのに、ふん水の水が出ていたと教えてくれました。それを聞いて、あたしも、たいないなと思いましたが。  
わたしは朝、おきてから出るまで、顔をあらう、トイレの水を流す、お茶あをあらう、せんたくする、学校の水をのむ、家に帰ってきてから手をあらう、お風呂に入る、少し考えると、水を使うことをたくさんしています。  
春休み図書館で、アフガニスタンで水を作、た日本人の本をかりました。日本から遠くはなれたアフガニスタンという国には、び

ょういんも水もない場所があります。中村てっ先生というお医者さんは、そこでくらす人たちをたすける仕事をしました。びょう気にな、た時にびょういんがない、水がないもしわたした、たらどういう毎日をするかしているのだろうとふしぎに思いました。  
二年生の時に学校の図書館でかりた本は、アフリカの女の子が毎日早おきて、川に水をくみに行くお話でした。わたしは、毎日びょう口を開ければおいしい水を飲むことができます。その子たちが水くみをしている時間に学校でべん強したり、おいしいきゅう食を食べることができます。それができないのは、かわいそうです。本を読んで世界にはきれいな水を飲むことができない場所があることが分かりました。きれいな水がなければ、びょう気になると思うし、野さいやお米を作ることができないと思います。だからお兄ちゃんか言、ていたふん水の水は大切な物だと分かりました。

きよ年の夏、わたしは食べたスイカからたねをのこしておいて、それを土に植えてそだてました。その時、庭においてある、水がたまった大きなバケツから、ジョーロで水をくんで、プランターにあげました。どうしてふうの水をあげないのかお母さんに聞くと、「その水は、まだまだ使えるお水なのよ。飲むことはできなくても、庭のお花や野菜いにあげられるのよ。」と教えてくれました。そしてわたしの家ではおせんたくや自分のくつをあらう時、お風呂のこのたお湯を使っています。それもまだまだ使える水だからです。使えるものはリサイクルするのは大切だと思います。そして、も「たいたいと思っでいた公園のふん水の水は、お父さんがインターネットで「飲むにはできさない水」だと調べてくれました。そういう水でも世界には手に入らない人もいると思います。だからわたしは自分でぎるせ、水をして白きたいと思いません。

〔議長賞〕

会津若松市立行仁小学校 2年 小瀧 きお

大切な水  
 行仁小学校 二年 小瀧 きお  
 わたしは、かぞくて出かけたときにこうそくどうろのサービスエリアで休けいをしました。トイしにかわいい水のしずくのイラストのポスターがはってあったのをみつけました。まだならっていないかん字が書いてあったので「これなにかかいてあるの。」とお母さんに聞きました。  
 「さいせい水をしようしています。」と書いてあるとお母さんが言いました。  
 「さいせい水ってなんだろう。」  
 わたしは思いました。  
 「水を大切につかうために、一回つかった水をきれいにしてもう一回つかうことだよ。」とお母さんがおしえてくれました。  
 わたしたちか、まい日つかっている水どうの水は大切につかわないとなくなってしまうかもしれないので、おふろやせんたくにつかっ

た水がきれいになつてもう一回つかわれてい  
ることをしました。おかいものをするとま  
にエコバッグをつかうみたいにも水ももう一回  
つかえるのはすごいと思いました。

あたしは、水どりのジャロから出る水をお  
ふろやてあらいやうがいにもまい日つかつてい  
ます。今まではなんにもかんかえないでつか  
っていました。でも水は大切につかわなければ  
いけないということをしりました。あたし  
もなにかできるかかんかえました。シャワー  
の水や歯みがきやうがいや手あらいのときに  
水どりの水を出しっぱなしにしないようにし  
よう。つかつたおふろの水を花だんの木やお  
花にあげたりしよう。おてつだいのかいだん  
のぞうきんかけのときもつかつたおふろの水  
をつかおう。

あたしは、水であそぶのが好きです。プー  
ルもたのしいし、水に花びらを入れてつぶし  
てきれいな色の水をつくるのも好きです。水  
ふうせんやしゃぼん玉もたのしいです。水ど

うの水をつかえることはありがたいことなの  
で大切につかいながらたのしく水であそびた  
いです。

## 審査講評

小学校低学年の応募作品が少なかったのはちょっと残念な気がしました。それでも日常生活の中で、自分なりの水に対する考えや経験を素直な気持ちで書いている点に好感を持ってました。

家庭での会話で水の話題を取り上げる機会が多くなれば、「水を大切に」という啓発活動にもつながると思います。水だけでなく地球環境やエネルギーなどにも広げて考えてもらえばうれしく思います。

## 〈小学校高学年〉

### 〔市長賞〕

会津若松市立行仁小学校 5年 小瀧 タオ

水道水に感謝
行仁小学校 五年 小瀧 タオ
ぼくたちの住んでいる日本はどこにでも水道があつていつでもきれいな水が飲めます。家でも公園でも蛇口をひねつていつでもおいしい水が飲めます。ぼくたちにはそれがあたり前だけどそうではない国がたくさんあります。ぼくが行ったタイという国では水道水が飲めませんでした。
「水道水を飲むとお腹が痛くなるかもしれな
いからペットボトルの水を飲む事。」
「氷を食べない事。」
「念のためにかいと歯磨きをする時も水道水は飲まない事。」
をお父さんがぼくと妹に言いました。ぼくは日本と同じように水道があるのになぜ水道水が飲めないのか不思議だな、と思つて調べてみようと思ひました。タイには浄水場があつてきれいに処理された水が使われているけれど家の蛇口に届くまでのタンクや水道管が汚

れていたり古くなつていたりして、そこからサビや汚れや細菌が入つてしまつて、家の蛇口から水道水が出る時には水が汚れてしまつているそうです。タイに住んでいる人も、水道水は飲まない、料理にも使わない、お米をとぐ時も使わない人もいるという事が分かりました。日本では安心して水道水を飲んだり使つたり出来るのに、水道があつても安心して水道水を飲んだり使つたり出来ないのはとても不便です。それから、タイではトイレトペーパーをトイレに流せませんでした。トイレの横にあるゴミ箱に捨てなければいけません。なぜトイレトペーパーを流せないのかというと、下水の管が細くてつまりやすいからという事が分かりました。日本と同じ様に水道やトイレがあつても、日本の様に安心して使える国とそうではない国がある事におどろきました。そして世界の国の中でもほとんどどの国では水道水が飲めなくて、安心して飲める国は十何カ国しかないという事と、そ

の中でも日本の水道水は世界でトップクラスに安全という事も分かりました。ぼくたちは日本で毎日の生活の中で当たり前水道水を使つています。飲み水、料理、お風呂、トイレなど水道水の無い生活は考えられません。でも、安心して水道水を飲んだり使つたり出来るのは当たり前じゃなくて特別な事です。日本で当たり前水道水を使えるのは、ダム、浄水場、沈んでん池、沈砂池、ろ過池などの水道施設やポンプや水道管や水管などの整備や管理が素晴らしいからです。そしてそこで働く方達の検査や技術のおかげです。蛇口から安全な水道水が出るまでにはたくさんの方の力があります。

ぼくは、水道水を当たり前のように使える事はとても幸せな事で感謝しなければいけないと思ひました。水を大切に使つていこうと思ひました。そして、世界中の蛇口から安全な水道水が出るようになって、世界中の人がきれいな水を飲んだり使つたり出来るように



苗代湖の水質が中性に変化した事が原因でこのことでした。これまでは北塩原のひばり湖でしかつれたが、たワカサギが、猪苗代湖でもつれる様になり喜ぶ人もいれば、昔からいた生き物の減少を悲しむ人もいます。どちらが良くてどちらが悪いのか、小学生のぼくには判断がつかえません。

ぼんだい山のふもとに位置する猪苗代湖の水質は強い酸性でした。しかし、三十年程の間、中性に変化しました。この変化の原因は判明していません。もしかすると、猪苗代湖に流れている水域全体、森林に何か問題があるのかもしれないかもしれません。まだ分からない未知の変化が起こっている最中かもしれないかもしれません。それはぼくにもわかりません。

でも、ぼくはこの変化がこれ以上進まないといいたと願っています。その理由は、ワカサギは別の場所でもつれるけど、昔からいる水生生物がいなくなってしまうのは悲しいからです。それに水道水でカルピスが作れなく

なってしまうのはもっと悲しいです。

そこで、今、ぼくがおもしろい水を飲み続けるためにできる事はなにか話し合いました。かせんいきのゴミ捨てボランティアに参加する、節水に取り組むなど色々な事をしかげくには思いつきませんでした。しかしお父さんやお母さんや友達と環境保全の大切さについて考える、リサイクルを心がけるなど、色々な意見が出ました。良い意見ですが、くやしなので、ぼくが勉強や経験を積んだときに、もつていい方法を思いつくかもしれないので水について考え続けたいと思います。

今回、一人の力だけではぼくのカルピスをやる事はできないことがよく分かったので、家族や友人と話し合うのはとても大切なことだと感じました。なので水のことについて色々な人と一緒に取り組んでいくことで、より大きな効果が得られると考えています。みなさんもぼくと一緒においしい福島の水を守りませんか。

〔教育長賞〕

会津若松ザベリオ学園小学校 6年 愛澤 莉杏

当たり前前じゃないという意識  
六年 愛澤 莉杏  
人間の体の50〜60%は水分であり、一日に約三升の水が必要である。三日間水を飲まないだけでも死んでしまうと言われており、人間にと、て水は必要不可欠であることは誰しもか知っている。もし、きれいな飲み水が手に入らなくなったら、例えば無人島に取り残されてしま、たときのことを考えてみた。どうやって、飲み水を手に入れられるだろうか。  
まず、雨水を集めるという方法が考えられるが、集めた雨水はそのまま飲料水として使用できるのだろうか。雨水は空気中の細かいほこりなどが含まれており、集める過程で雑菌なども繁殖する可能性がある。従って飲料水にするには煮沸による消毒やろ過が必要である。そして何より、雨が降らないと話にならないし、短時間に大量の水を確保できる保証もない。  
次に海水が手に入る場合も考えられる。し

かし、海水は塩分濃度が高く、そのまま飲料水として用いる事はできない。海水から塩分を取り除くには、海水を一度蒸発させて水蒸気とし、それを冷やすことで回収する蒸留が必要である。これを用いれば不純物のないきれいな水が手に入る。  
これらの方法は、自然にある水分を安全な飲料水として確保する方法の一部であるが、煮沸や蒸留などの高熱の処理が必要であり、一度にたくさん水分を得る事は難しい。飲料水と食事に使うなどの本当に必要な最低限の水を得るだけで精一杯かもしれない。  
今の私たちの生活で使う水を考えてみると、手洗い、歯みがき、食事、食器洗浄、洗濯、風呂など、様々な場面で多くの水が使われ、一人一日二百升の水を使っている。  
しかも私たち日本人が使用する水道水はそのほとんどが飲用できる安全な水なのである。私たちが日本人の使用する水道水は、主に河川やダムなどの水源から得られた大量の水を利

用しており、浄水場において様々な程を経へ私たらの家庭に行き届いている。

無人島で安全な水を手に入れる困難さを考えれば、蛇口をひねるだけで安全な水が手に入るという事は当たり前ではなく、奇跡に近いことだと言えると思う。水資源が豊かなこの日本という地域性、そして先人たちの多大な努力によってこの奇跡は生まれたのである。そして安全な水が手に入るのが当たり前ではないという意識こそが、水資源を無駄にしない

こしなく持続可能な社会を発展させるために必要な考え方なのではないかと思う。

私は水が飲みたければ飲む、使いたければ使える、してもすばらしい環境を過ごしている。このことを当たり前だし感じず、一つの幸せだし感謝しなから、水を大切に生活していきたい。

〔理事長賞〕

会津若松市立一箕小学校 4年 中村 望実

世界にとどけたい安全な水

一箕小学校 四年 中村 望実

わたしは家族でキャンプに行きます。キャンプに行く時は、水とうにその日に飲むお水を、料理や手を洗うときに使うお水をタンクに入れて行きます。お風呂やシャワーがついているところもありますが、ないキャンプ場ではお風呂に入れません。わたしが一番気になるのはトイレです。トイレが近くにあると安心します。キャンプはとても楽しいですが水が自由に使える家での生活とは少しちがいます。

家では水道からいつでも安心して水を使えることができます。では、いつからこの水道はできたのでしょうか。調べてみました。

日本で水道ができたのは江戸時代だそうです。それより前は、川の水や井戸の水をくんで使用していましたが、水のごれの問題や江戸に人がふえたことで、今の水道の元となる水道が作られました。

明治時代には、さらに東京の人はふえ、水はきたなくなり、コレラなどの伝染病がはやるようになり、水道の整備が急がれ、今にながる水道ができたそうです。

水は飲むためだけでなく、私たちのけんこうを守るためにも大切な役わりをはたしている事がわかります。

水道がないアフリカなどでは、他の動物も使っている川の水や、きたない井戸の水を使っているところもあります。そのような水には、病気を引き起こす菌がいて、病気でなくなる人がたくさんいるそうです。

また、いつでも水が出るじゃ口がないので川の水や井戸の水をどんなに遠くても自分で運ばなければなりません。毎日水をくみに行くために学校にも行けない外国の女の子の話を本で読んだことがあります。家族で使う水をくむために勉強したくても学校に行くことができないなんて、とてもおどろきました。

世界で見ると、水道のある国は百九十六カ

国中、五十カ国以下。しかも、水道がある国の中でも、水道水が飲める国はたったの十五カ国しかないそうです。

あまりにも少なくておどろきます。

私の住む会津若松市も、四百年前に会津の人のためにいなわしろ湖から水を運ぼうと、自分のお金を使って水路を作ってくれた人がいたそうです。その人のおかげで今、私はおいしい水も飲めるし、トイレにも行けます。けんこうな毎日を送れているのだとあらためて感じました。

水道があつて、水道の水を何も気にせず飲めること。きれいな水のお風呂に入れたり、プールで泳ぐことができること。トイレを使つた後は水で流し、けんこうでいられること。どれもあたり前だと思つて生活してきましたが、昔の人の苦勞と努力によつて作られていたことが分かりました。

地球上にたくさんある海の水を、飲むことができる水にかえることができれば、とた

くさんの人に水をどどけられると思いますが  
それにはまだまだお金がかかるそうです。水  
がたりない、まずしい国ではそのぎじゅつを  
買うお金がないそうです。

世界に安全な水をたくさんとどけることは  
まだまだむずかしい事かもしれません。でも  
安心して使える水がある日本に住んでいる私  
だからこそ、大切に使おうと思います。

### 〔管理者賞〕

会津若松市立日新小学校 4年 岡部 恵菜

今日私ができること

日新小学校 四年 岡部 恵菜

「昔は、おふるな人でなくて水を川からく  
んできたり、せん湯に行、たりしてたんだよ。  
というそ父の話を聞いて、私は、昔はべんり  
な物がなくて大へんだ。たんたなと思いまし  
た。今はじゃ口をひねれば、お湯や水が出ま  
す。でも、今も戦争をしている所は水を自由  
に使えないそうです。それに、さいきん起き  
た、石川の地震のように災害が起きたら、水  
道の水が止ま、こしまうこともあります。も  
し水道が使えなくな、て、私の家にあるペッ  
トボトルで今と同じ生活をしようと思、たら  
トイシ、朝の食事くらいでその水はなくな  
こしまいます。そう考えると水道のある生活  
はとてもありがたいなと思いました。

水の汚きれについて調べてみると、今から四  
十年くらい前は、川がイトミミズが住むよう  
にきたない川た。たけれど、今はユカ泳げ  
るくらいきれいにな、たと書いてありました。

でも私は、まだゴミがたくさんあるなと思いましたが。その理由は、私の家の近くの湯川という川をさんぽで通ると、ペットボトルやふくろなどがたくさんういているからです。それをみると、早くその場所を通りすぎたい気持ちになります。

そんな時、会津若松市の広ほう紙の「みずチャンネル」を読んで、水道と川がジャンカんしていることが分かりました。私たちが、健こうでおいしい水を飲むために、川をよこ

さないで、ゴミを捨てないようにはたいです。それから、節水も大切です。水をむだ使いたくないように、私の家族はよごした食器をあらう時に新聞紙でふいて少ない水ですむようにしています。それをまねして私も取り組んでいます。例えば、図工の時間で絵の具を使う時は少しずつ出したり、書道ですみを使う時に、使う分だけ入れたりしています。

またみずチャンネルの水道施設の特しゅう

を見てすいそうに魚がいるのをふしぎに思ってお母さんに聞いてみると、「魚が、安全な水かどうかの見はり番をしてくれているんだよ。」

と教えてくれました。ということは、水がよごれていたら、魚が死んでしまうのかなと思ったら、むねがドキッとしました。私は魚にこう伝えたくまりました。

魚くん人間のために命をかけて働いてくれてありがとう。私のおじいちゃんがこう言っていたよ。「馬車が今やっっている、公園のゴミひろいを毎日つづけると世界がかある。」。私は地球や水を守るために、毎日できることを一つ一つやっっていくよ。そうすることで公園や川にゴミを捨てる人がへって、魚くんがのびのび泳げる水になるといいな。私もがんばるね！ ありがとう。

審査講評

資料を調べながら、外国と日本の水に対する考え方や環境について書いている作品が多く見受けられました。

水資源の大切さにとどまらず、地球環境について触れている点も好ましく思いました。水をテーマにした作文を書くことがいかに大切かを学校や家庭で関心をもって取り組んでもらえればうれしいと思います。

〈中学校〉

〔市長賞〕 会津若松市立一箕中学校 1年 レディングトン 紅愛美

世界の大切な水	一箕中 一年 レディングトン 紅愛美	私は、半年前、アメリカから日本に引っ越して来きました。日本で初めて生活する中で、たくさん人の日本とアメリカとの大きな違いに気がきました。その中でも、特に驚ろいた事があります。それは、水に関する事です。私が住んでいたアメリカと日本の水環境を比べて改めて、これからどう水をより良く使えるかを考えてみたいと思います。	まず、私が住んでいたのは、アメリカ西部に位置するユタ州です。ユタ州は、とても乾燥した砂漠気候です。そのため、雨や雪の降水量は、とても少ないです。年間降水量の平均は、四百七十二ミリしかありません。アメリカ州では、芝生のある場所が多いため、スプリンクラで水やりをしています。そのため、毎回、大量の水を使います。ユタ州では、水が限られていたりするため、決められた曜日だけに芝生に水やりをします。ですが、この数年、
---------	--------------------	---	---

特にユタ州の降水量が少ないため、州内で節水するため、芝生が青くなくて黄色でも良く、隣りの州のネバダ州では、ユタ州より水の量が少なく、一ヶ月に使う量が決まっています。一家庭で決まった量を越えると、罰金が取られる事もあるそうです。このように、砂漠気候に住む人々は、たくさんの方を、生活の中で節水を心がけて生活しています。

一方、日本は、一年中、雨が降り、梅雨の時期もあり、海に囲まれ、水がたくさん身近にあると思います。私の住む福島県の年間降水量の平均は、約千四百ミリです。これは、ユタ州の約三倍の量です。私は、まだ日本で慣れていない節水のための行いを知りませんが、日本は水に恵まれていると思います。私は、日本に来て、ユタ州にいた時ほどは、水や節水について気にしなくなりました。しかし、世界の水は、限られているので、それではよくないと思います。

私たちは、生活の中で身近に水道水を使っています。お風呂やトイレ、洗たく、手洗い、料理、飲み水、水道水がなければ生活ができません。水道の水を一分間、流しっぱなしにするだけで約十二リットル位の水が流れます。世界中に約七十八億人がいて、皆、水がないと生きてゆけません。日本人一人当たりの一日の水使用量は平均二百四十リットルで、世界平均の約二倍の量を使っているそうです。また、世界で一番清潔な水を利用できない国は、アフリカにあるエリトリアです。人口の十九パーセントしか自分の家の近くで清潔な水を利用する事ができないそうです。近くに水がない人々は、遠くまで水をくみに行きます。私たちが住む日本では、蛇口をひねればきれいな水が好きなので、蛇口をひねれば、日本とアラブ首長国連邦のみが、水道水をそのまま飲む事ができます。アメリカも水道水は、そのまま飲めません。これらの事を見ても、色々な面で日本は、本当に恵ま

ている事を実感しました。  
 私は、今回、アメリカと日本、そして世界の国の水の環境を見る事で、それぞれの国で様々な水の課題がある事を知る事ができました。日本のような水に恵まれている国に住んでいると、きれいな水が自由に使える事がいつの間にか当たり前のようになってしまっている。水の大切さを少しづつ忘れて行ってしまいがちです。そのため、どこに住んでいても使える水は、限られている、誰もが水を使えるわけではない事を忘れずに、私たちは、毎日生活するべきだと思えます。例えば、歯をみがく時や料理や食器洗い、手洗いの時など、こまめに水を止めたり、無駄に使わないなどと節水のために一人一人が少しだけでも心がけるだけだけでも、だいぶ変わると思えます。人間は、水がないと生きてゆけないので、自分だけが節水を心がけるより、みんなまで意識し行動にうつしてほしいと思います。

〔議長賞〕

会津若松市立第一中学校 2年 小松 夢歩

この美味しさを継承するため  
 若松一中 二年 小松 夢歩  
 日本は水道水は美味しい、この言葉を私は何度も耳にししてきました。学校の授業や家族との会話中に「水」についての話題が上がると思わず誰かはこの言葉を発します。私も運動後に、せかせかとして水道水を飲んだときそう思いました。けれど、美味しいとは何をもう一度聞いてみました。考えてみると、水道水の「味」は甘い訳でも塩辛い訳でもないよ  
 うに感じます。つまり、水道水の美味しさとは何かの「味」ではないと考えます。そこで私は日本の水道水の美味しさとは何なのか調べてみることにしました。  
 一つ目は軟水であることだと考えます。日本  
 の地層はミネラルの少ない火成岩が中心で山の傾斜も急なことで雨水が短時間で海へ流れやすいため、ミネラルが水に少量しか溶け出さず軟水が多くなります。軟水は硬水と比べて癖が少なく、まろやかな味わ

いがするといわれています。この味わいが日本  
の和食とも相性の良い水道水の美味しさの  
一つだと思っています。

二つ目は安全性だと考えます。日本では水  
質基準を厳しく定めているため、飲み続けて  
も健康上の問題はないものだとされています  
浮遊物の沈殿、濾過、消毒などの、なんと二  
千種類といわれる検査を行なっているため、  
私達は安心して飲むことができます。その安  
心が美味しさの隠し味であるのではないでし  
ょうか。

三つ目は、臭いだと考えます。日本の水質  
基準の項目には「カビの臭い」というものが  
あります。これは、日本が独自で定めた基準  
となっていて、臭いがついていいると、生活  
用水としても飲用水としても使いつらさを感  
じると思います。それは、水道水に限らず味  
や見た目が良いどんな物にしても同じことが  
いえるのではないでしうか。

以上の三つの観点が、日本の水道水の美味

しさの正体だと考えます。  
このような美味しい水道水をそのまま飲め  
る国は、日本を含め十四ヶ国だけです。日  
本がこんなにも水道水に恵まれているのは  
理由があります。

それは、降水量が多いこと、インフラが整  
っていること、節水の取り組みが増えたこと  
だと思っています。

日本は世界的にも一年を通して雨や雪が多  
く降り、一九七一年から二〇〇〇年にかけて  
の平均の年間降水量は、一七一八ミリメー  
トルです。八八〇ミリメートルの世界平均と比  
べると、とても恵まれていることがわかりま  
す。

また、日本には三千余りのダムがあるこ  
とで多くの水を保有されており、九十七パー  
セント以上が水道が通っていることから日本  
のインフラは世界と比較してもかなり整って  
いるといえるでしょう。

そして、最近ではSDGsの認識が高まった

こともあり、節水の技術や設備が整って水の消費量が抑えられています。

このように、今は水道水に恵まれている日本でも、これがいつまでも続くとは限りません。これを継続させるためには、「誰かが」ではなく、「皆が」協力して守る取り組みをすることが大切だと考えます。そこで、私達でもできる取り組みは何でしょうか。

一つは、汚染源となる物を流さないことです。汚染源である油を五百ミリリットル流した時、魚が住める水質にするためには浴槽五六〇杯分、つまり約一六八三〇リットルの水が必要である、ときいたとき私はあまりの水の量の多さにゾッとしましたことを覚えています。家庭で何気なく流してしまっている油や洗剤を何気なくですましてはいけません。つくづく感じました。

そして、一度に使う量を考えるということ。が一番身近にできることなのではないでしょうか。手洗い時、水をくむ時、水を飲む時、

入浴時などと家庭生活内で水を使う場面は幾つもあります。水を飲む時は蛇口から直接飲むのではなくコップにくんだり、浴槽のお湯を再利用したりと一つ一つの場面ごとがけければ、消費量を大幅に削減することができます。

日本の水道水は美味しい。これは、当たり前なことでも、ずっと続くことでもありません。この美味しさの継続には、一人一人の意識、取り組み、感謝の気持ちが必要だと私は感じました。水道水のように、何気なく私達が使っている物にこそ多くの手間がかかっています。守っていくかなければなりません。そして、今後はこれが日本に止まらず世界各国でも同じことがいえるようにすることが課題になるのではないのでしょうか。どこか誰かが「それはなく」どこでも皆が「美味しく飲める水道水を目指し、私は自分ができることを考えて実行していきます」。

〔教育長賞〕

会津若松市立第一中学校 2年 櫻井 稟子

考え方、関わり方で変わる  
 若松一中 二年 櫻井 稟子  
 私は、会津若松市の住人として、改めて水道との関わり方について考え方を換えようと思いました。まず、学校下の水道の使い方は手を洗うくらいしか使わないので、正しい使い方や節水はしていると思います。しかし、全校生を見てみると清掃のときにバケツで雑巾を洗うのではなく水道で蛇口をひねって洗っている人もいますが、直接水道で洗う人の方が多いことに對して、改めて何故だろうと考えてみました。  
 実は、清掃をする際、何故誰もバケツを使わないのかが気になり、隣の班の行動をちょっと、このぞいてみることにしました。すると、私たちの班との違いが一つありました。私たちの班は必ず誰かがバケツに水をくんでいますが、隣の班は誰もバケツに水をくもうとしないのです。そのため誰も直接水道場に行

雑巾をもみ出していきます。しかも、蛇口をひねって必要以上の量の水を出して雑巾を洗っているではありませんか。そこで私は、その班の班長に声をかけてみました。すると次の日とその次の日までは、よかったです。が、一日だけ清掃がない日があったので、それからその日を空けての清掃ではまた、誰もバケツに水を組むことを忘れていたように思いました。  
 そこで私は、清掃委員に一つの案を提出しました。清掃委員は昼の放送で呼びかけてみると言われましたが、結局はしばらく待って、何も起こらずそのまま時間が過ぎています。そこで、節水の仕方を全校生に自ら伝えようと調べていきました。なかなか伝えられる機会がなく困っていました。しかし、一諸にそのことを調べていた友達に自ら行動し、周囲の人々にこうするといよいよと伝えていきました。それを見て私も、できることから始めて

みようと、思い、学校では清掃のとき、手を洗うとき、家では畑に水をやるとき、歯をみがくときなど、周りの人たちに声をかけながら、自分自身も節水を心がけて生活しています。ところが、節水することによって、どんなことが起こるのでしょいか。ちなみに地球には十四億立方キロメートルの水があると、言われていますが、そのうち飲み水等に使える淡水（真水）は、約二・五％です。しかも、この淡水の多くが北極や南極の氷のことだ。そうで、す。つまり、私たちが身近に利用できる水は地球上にある水の、僅か〇・〇％にしかすぎないことが分かりました。そのため、節水することによって、私たちが日常生活している水を、貴重な資源として、長期間保つことができらるのです。しかし、節水だけでは私たちの貴重な水を長いこと保つことはできません。そのためにも、身近な自然である川や湖を汚さないことも大切なことです。そこで、川や湖を汚さないため、まず家庭から見直して

みることに、大事なのではないかと思います。川や湖の汚れは、家庭から出る排水が大きな原因になっています。一人一人が家庭から、汚れた水を流さないための工夫をこらすことが、川や湖をきれいにし、安全でおいしい水をつくることにつながるのです。ところが、節水していたら水道事業が成り立たなくなるといふ予測もされています。そうなると、節水という行為自体が思われてしまふのではないかと、いう気になります。ということは、地球全体の課題となっていて、人口減少も実は、水道事業の問題にリンクしていると言、ても過言ではありません。人口減少は、水道使用量の減少につながり、それが水道事業の経営を困難にしています。ですので、人口の減少がひいては、水道料金収入の減少になり、経営に大きな影響を与えることになるのだそうです。水道事業の役目は、一人一人に安心安全でおいしい水を届けることを主にしており、もし

も、このこと下水道事業自体がなくなってしまうようなことになると、一人一人に安心安全でおいしい水が届かなくなってしまうので、人口減少や節水などでも辛い境地に立たされていける分はどうすればいいのかを考へる時期にきているのかもしれない。

それはともあれ、私たち一人一人がどんなことでもいいから節水を心がけるのが大事だ、という思いで生活していくことが目下の課題とするべきなのではないかと思えます。

〔理事長賞〕

会津若松市立第一中学校 2年 井上 想徠

水道を振り返る  
若松一中 二年 井上 想徠

「水道」という言葉を聞くと、飲料や家事に用いていることか思い浮かびます。ですが、実際に使っている水道の量といわれると、自分には存にも知りないと感じました。

学校で行った話し合いで、「水道を正しく使うために注意しなさい」といわれることは、月曜日や土曜日という議題が出ました。私は、「水を出し、栓はし下しなさい」といって、他の人よりも考えて使う、という案が思い浮かびました。

先生に頂いた資料を見ると、「出しっぱなしにしてはいけません。歯磨きだけでも、三十秒間流して、絞ると約六リットル、流すと約九十リットル」とも想像がつかない水が流れていました。

この数字を聞いて感じました。

また、東京の一日あたり約四一二万リットルが使われていることかわかりました。これは、東京の一日あたり約四一二万リットルが使われていることかわかりました。



て利用できるものがあります。それは、お風呂  
別の水と洗濯の水です。お風呂で使った水は  
そのまま洗濯の水として使えば、その分の水  
が節約できます。また、この他にもいろいろ  
は組み合わせて使うことで、より水と少しく  
使えるようにはると思います。

私は今まで、水道水は無限に出てくるのだ  
と思っていました。ですが、資料を見て、正  
確な数字を知ると、水は地球の大切な資源で  
あり、大手に使われればいものだというこ  
とを実感しました。また、水道水がそのまま  
飲むことかできるということも、当たり前で  
ありませんか。日本のほぼ全ての水道水が飲  
むことかでき、電化は生活を送ることかでき  
ているということは、とても感謝しなければ  
いけないことです。そして、その水が限りあ  
る資源だということを、水道を使う全ての人  
が自覚し、責任を持って水道を使うことか  
できたら、必ず良い方向に進み、水道を大切に  
使うことかできるのかなと思います。

まずは今日からの第一歩、水道を大切に、  
責任を持って使用し、私たちで守れれば水を  
保てるようにしたいです。そして、私に住ん  
ているこの会津若松を、地球を守って、水道  
という資源を次世代へ継げられるようにした  
りたのです。

〔管理者賞〕

会津若松市立第五中学校 2年 和須津 辰也

未来へつなぐきれいな水  
 会津若松市立第五中学校  
 二年 和須津 辰也  
 ふきのとうみそ、小梅、高田梅、焼鮭、の  
 りの佃煮、ふりかけ、たけのこの炊き込みご  
 飯、オムライス、しそ味噌、山椒味噌、これ  
 が僕が昨年から朝練終りに食ったおにぎりの  
 内容です。  
 「和須津君もこだわりを持ってよ。」  
 ある日、僕が所属している特設陸上部、駅伝  
 部の顧問の先生がそうおっしゃっていました。  
 その時は「何もこだわりなんて無いな」と思  
 っていたけれど、朝練終りにほぼ自家製の具  
 材が入った母が握ったおにぎりを食ったこと  
 が、僕のことだからなのかもしれないと思いつ  
 きました。今日のおにぎりは何かな、今日は  
 当たりかなと思ひながら食べていたけれど、  
 食べられるのが当たり前ではないのだと先輩  
 や同級生の朝練終りの菓子やち栄養補助食  
 品を見て思いました。おにぎりはお米を炊き

握る人がいないと食べられません。そして、  
 その材料のお米や具材を作るいろいろな農家  
 さんや漁師さんが生産、漁、養殖、出荷して  
 くださったと思います。そして「きれいな水」が  
 ないとお米を炊くことはできません。  
 今日の新聞に、世界の急性飢餓人口が20  
 22年に2億5800万人に上ったと書いて  
 ありました。その発生要因は紛争、経済状況  
 の悪化、自然災害がそうです。急性飢餓人口  
 の上位5ヶ国はコング、エチオピア、アフガ  
 ニスタン、ナイジェリア、イエメンと続き、  
 これら上位5ヶ国が全体の約4割を占めてい  
 ます。この記事を読んだ時、春休み読んだア  
 フガニスタンで人道支援を行っていた中村哲  
 先生の本の内容を思い出しました。中村さん  
 はアフガニスタンで1984年からパキスタ  
 ン、アフガニスタンで支援活動を続け201  
 9年に凶弾に倒れました。1600本の井  
 戸を掘り、225キロにも及ぶ水路を拓き  
 ました。戦争で苦しんでいたアフガニスタン

で「干ばつ」が起き、食料の小麦が採れず、水もなくなり多くの人が亡くなりました。その時、中村さんは「病気を治す前にまず、水が必要だ」と井戸を自ら掘り始めました。しかし井戸の中の地下水が枯れ始めた為、次は大まな川から直接村に水を届ける「用水路」建設を開始しました。村では、小麦、オレシジ、大根などを栽培できるようにし、食料を手に入れるために入隊していた人が、兵隊を辞め農業を始めたといい、ことも多いようです。

そして中村さんは一緒に工事を行っていたアブガニスタンの人々に「やられても、やり返してはいけません」と繰り返し話していたようです。命の危険があるのに、反撃しないのは本当の勇気と忍耐が必要だと思いません。農業ができる水があるという事は、国を平和にしていける力があることをこの本を読んで分かってきました。

水の惑星といわれている地球ですが、その水の中の約99%しか人間が使える水はありません。

せん。地球上には約14億km<sup>3</sup>の水があります。そのうち約97・47%が海水で残りの約2・53%が塩を含まない水、淡水です。海水を淡水化して利用している国にアラブ首長国連邦があります。「蒸留式」を採用し上水道普及率は100%です。人間が利用できる水は、地球上の淡水の中で川や湖、浅い所にある地下水などです。例えてみると、300L（浴槽の水くらい）を地球上のすべての水とすると、人間が使える水は30ml（大きいコップ半分）しかありません。

せん。国連は、地球上の淡水を「限りある資源」とみなし、水の有効利用を呼びかけています。そのためには節水する、川や湖を汚さないことが必要です。僕のできることを考え、節水では歯を磨く時はユツプに水を汲んでその水を口をすすぐ、歯ブラシを洗うのに使う、お風呂のシャワーの水をこまめに止める、顔や手を洗う時に水を出さずお風呂、靴や運動着を洗う時はお風呂の残り湯を使うことです。川や湖が汚れる大きな原因の

ーフは家庭排水のようです。僕ができることは、食べ残しをしない、僕が食器を洗う時は油よごれを古紙で拭き取り、水を出さずお風呂のように洗い、洗剤を少なめにする。お風呂の排水口を、こまめに古い歯ブラシを使って掃除する。洗濯する時も、お風呂掃除する時も洗剤をできるだけ少なくする。今まで、部活から渡れて帰って来て汚れたクイックツヤくつ下を下洗いあるのが面倒だと思う時がありました。小学校の時から運動着や靴などは自分で洗っていました。が、中学に入ってから、ワイシャツと白い靴下が追加されました。なぜ下洗いをしてから洗濯機で洗うのか、今回水について調べてみて、ヤフと納得できました。

これから、自分ができる節水を続けて、きれいな水を未来につなげて行きたいと思いません。

## 審査講評

家庭や学校での水にまつわるエピソードからSDGsの環境問題に至るものまであり、多様な視点で書かれていました。また、水道の歴史や水道局の方々への感謝についても触れられていました。

特に中学生の作品は、調べ学習をされて書かれたものが多く見られました。調べて分かった事に対する自分の考えを書いている作品については高い評価をつけました。作文を書くことを通して、自分の考えを深めることを大切にしていってほしいと思います。

## ◆審査員

○図画の部…会津若松市立第一中学校

埜渡 さえ子 先生

会津美術協会

馬場 泰 先生

会津美術協会

安部 美登利 先生

○書写の部…会津若松市立日新小学校

早川 一人 先生

会津若松市立第二中学校

佐瀬 裕子 先生

会津書作家協会

白石 光史 先生

○標語の部…会津若松市立川南小学校

津田 宗人 先生

会津若松市立北会津中学校

宗形 ひろみ 先生

あいづ川柳会

小林 左登流 先生

会津詩人協会

福西 トモ子 先生

○作文の部…会津若松市立城西小学校

金子 瞳 先生

会津若松市立第三中学校

芥川 春佳 先生

会津史学会

庄司 裕 先生

### ★おわりに★

ここに掲載されている作品は、上下水道局のホームページでもご覧いただけます。

他に、優秀賞、佳作も含めた全ての入賞作品が全国展に送られ、審査されます。

みなさんからのたくさんのご応募、ありがとうございます。来年も多くの作品をお待ちしております。

## 第65回水道週間児童生徒作品展入賞作品集

令和5年7月発行

発行 会津若松市上下水道局

編集 上下水道局総務課

〒965-0064 福島県会津若松市神指町大字黒川字石上33-2

TEL (0242) 22-6073 / FAX (0242) 22-6173

<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/bunya/suido/>